

2013年3月6日

mail ニュース

No.15・通巻290

自治労連 都庁職

自治労連都庁職員

労働組合

発行人 風間隆行

TEL 03-5381-0250

憲法9条輝く非核の日本へ

核兵器廃絶 流れさらに3・1 ビキニデー集会開く

「2013年3・1ビキニデー」の諸行事が2月27日から3月1日の3日間、静岡県静岡市と焼津市で開かれました。今年のビキニデーのテーマは、「核兵器のない世界、非核平和のアジア太平洋へ 憲法9条と非核3原則を輝かせよう」でした。



28日には「3・1ビキニデー日本原水協全国集会・全体会」が静岡市内で開催されました。

来賓挨拶のあと安井正和事務局局長が基調報告を行いました。世界の圧倒的な人々と政府が核兵器のない世界の実現を求めていると強調し、「核兵器廃絶の流れをさらに推し進めて現実へ変えていこう」と呼びかけました。改憲を掲げる安部自公政権の誕生、北朝鮮の核実験など東アジア

の緊張が高まるなかで、「憲法9条を持つ被爆国として日本政府に国際政治でもアジア外交でも、ふさわしい役割を果たさせるため核兵器廃絶の圧倒的な世論を築こう」と訴えました。

海外代表の3氏が発言し、引き続き「平和行進から世界大会、そして国連へ」と題して、福島、自治労連、静岡、群馬の代表がリレートーク。「核兵器全面禁止のアピール」署名や原爆展など各地の取り組みについて活発な交流が行われました。

全体集会后8つの分科会と「核兵器なくそう青年交流集会」などの関連行事が開かれました。

核兵器廃絶誓う 墓参行進 墓前祭

「核兵器禁止加速へ行動」3・1ビキニデー集会

南太平洋マーシャル諸島・ビキニ環礁で米国の水爆実験によって静岡県焼津市の漁船「第五福竜丸」が被災して59年目となる1日、同市で核兵器廃絶を誓う献花墓参行進が朝9時30

分出発で行われました。主催は、被災59年3・1ビキニデー静岡県実行委員会と日本宗教者平和協議会です。海外代表と全国から参加した1500人は、「原水爆の被害者は私を最後にして欲しい」との言葉を残して亡くなった同船元無線長の久保山愛吉さんの墓がある弘徳寺まで行進しました。その後墓前祭では各団体の代表が核兵器廃絶に向けた誓いを表明しました。

1日午後からは、原水爆禁止世界大会実行委員会と静岡県実行委員会の主催で「3・1ビキニデー集会」が開催されました。1700名が参加しました。2015年の核不拡散条約（NPT）再検討会議に向けて核兵器全面禁止の流れを加速するために、3・1ビキニデーを出発点に、全国の草の根から行動を広げようと呼びかけるアピールを採択しました。



集会では、女性や青年、被爆2世が署名、原爆展、被爆体験の継承の取り組みを発言しました。原水爆禁止日本協議会（日本原水協）が派遣したロンゲラップ島（マーシャル諸島）島民支援代表団が、島民の健康被害などを報告しました。

静岡県実行委員会代表委員で県原水爆被害者の会の川本司郎会長が挨拶し、世界大会運営委員会代表で日本大学准

教授の野口邦和さんが主催者報告をしました。中野弘道焼津市長と三上元・湖西市長が来賓挨拶しました。